

## 平成21年度広大マスタース市民講座報告

### 第1回「家族で挑戦！野っ原探検講座」

#### 「ホタルの川の探検とナマズ釣り」

(8月23日(日)に志和で開催)

自然との接し方を家族で楽しく学んでもらおうと、フィールドで活動してきた4人のマスタース会員が川や原っぱ、山で昨年につき4つの講座を企画しました。今年も第1回は宗岡洋二郎会員が指導する「ホタルの川の探検とナマズ釣り」、6家族21名を含む28名が志和の里で楽しい一日を過ごしました。

午前中は宗岡先生から魚の体色変化やホタルの生態・発光のお話と実験。黒い器に入れておいたメダカを白い器に移した時の体色変化やメダカの色素細胞を顕微鏡で観察しました。暗くした会場で、子供たちがコップの水に溶かしたホタルの蛍光色素、酵素、ATPを混ぜるとコップが明るく輝き、どよめきが起こりました。昼食後は近くの小川に出かけ、宗岡先生から魚の捕り方の手ほどきを受けた後、高学年の子は腰まで水につかりながら、低学年の子は浅瀬で魚とりに挑戦しました。体長20cm余りのフナやオイカワなどの魚、エビ、ザリガニ、ショクヨウガエル、ヤゴなど大漁に皆大喜びでした。



魚とりを終えて会場の志和堀公民館に戻ったら、地元のご婦人方が用意してくれたごちそうが待っていました。前日に宗岡先生が釣った体長55cmものナマズのから揚げ、志和のお米のおむすび、地野菜のてんぷらなど盛りだくさんの料理に舌鼓をうちました。講座の様子は、夜7時前のNHKのニュースでも紹介されました。

宗岡先生、東広島市生涯学習課の倉田さんと梶永さん、アシスタントを務めてくれた総合科学部学生の福田さんと桑原さん、文学部の秋月さん、楽しい一日をどうもありがとうございました。（安藤忠男記）